

(2) 指標及び将来目標値

本プランの進捗状況を計る指標は下記のとおりとします。

本プランを推進していくうえで、ビジョンの実現に深く関わり、多岐に渡る施策評価に影響する特に重要となる指標については で囲んでおります。

指標	参考値 (平成 30 年 (2018 年))	基準値 ※0内は基準年	目標値 (令和 6 年 (2024 年))	目標値 (令和 7 年 (2025 年))
観光交流客数	1,425 万人	1,029 万人 (令和 2 年)	1,475 万人	1,500 万人
宿泊客数	96 万人	65 万人(令和 2 年)	109 万人	110 万人
外国人宿泊客数	92,990 人	8,240 人(令和 2 年)	11 万人	12 万人
一人当たりの旅行消費額	-	26,695 円(令和 4 年)	28,500 円	30,000 円
来訪者満足度	-	1.31 点(令和 4 年)	1.37 点	1.40 点
リピーター率	-	89.6%(令和 4 年)	89.5%	89.0%
市内の周遊箇所数	-	1.59 箇所(令和 4 年)	1.65 箇所	1.70 箇所
滞在時間 (日帰り)	-	3.8 時間(令和 4 年)	3.9 時間	4.1 時間
滞在時間 (宿泊)	-	28.7 時間(令和 4 年)	28.9 時間	29.0 時間
観光協会ホームページ アクセス数	-	209,747 件 (令和 2 年)	500,000 件	550,000 件
市民の観光に対する 評価 (満足度スコア)	-	3.03 (令和元年)	—	3.2

※参考値として、コロナ禍の影響のない平成 30 年(2018 年)度の実績を掲載した。

■重要指標についての考え方

○宿泊客数

本市の主要な課題である市内滞在時間の増加と、それに伴う市内消費の拡大につながることから、宿泊客数をより重視する。

○一人当たりの旅行消費額

観光の質の向上や周遊箇所数の増加、滞在時間の延長による個人消費単価の増加が、持続可能な観光地づくりへと結びつくことから、観光客数のみならず単価についても重視する。

○観光協会ホームページアクセス数

重点施策であるマーケティングやブランディング、情報発信等に係る施策の効果を直接測る指標であるため重視する。